

2 / 14

樋口陽一講演会

「近代日本の歩みと（立憲政治）」

その中で大学がしてきたこと、できなかったこと

(副委員長) 黒瀬一弘さん

戦前の大学人は明治憲法の運用に際し、「民本主義」や「天皇機関説」を唱え、立憲主義的要素を最大限引き出そうとしました。

ポツダム宣言の受諾の際には大学人は「憲法改正要綱」の作成に関わりましたが、拒絶されました。民間有識者による「憲法草案要綱」の方が国民権を

謳い、現行の日本国憲法の基本原則そのものでした。大学人ができなかったことは、国民主権を唱えることだったのです。

私は集団的安全保障の容認や軍事研究の解禁に揺れる現在の大学を取り巻く環境の中で、現職の大学人が果たすべき役割についての話を期待していません。

たが、残念ながらそれを聞くことはできません。アジアや中東情勢による不安定要因がますます強まるなか、今後憲法9条を軸にして様々な論議が展開されることでしょうか。

樋口陽一講演会

その中で大学がしてきたこと、できなかったこと

(副委員長) 黒瀬一弘さん

戦前の大学人は明治憲法の運用に際し、「民本主義」や「天皇機関説」を唱え、立憲主義的要素を最大限引き出そうとしました。

ポツダム宣言の受諾の際には大学人は「憲法改正要綱」の作成に関わりましたが、拒絶されました。民間有識者による「憲法草案要綱」の方が国民権を

謳い、現行の日本国憲法の基本原則そのものでした。大学人ができなかったことは、国民主権を唱えることだったのです。

私は集団的安全保障の容認や軍事研究の解禁に揺れる現在の大学を取り巻く環境の中で、現職の大学人が果たすべき役割についての話を期待していません。

たが、残念ながらそれを聞くことはできません。アジアや中東情勢による不安定要因がますます強まるなか、今後憲法9条を軸にして様々な論議が展開されることでしょうか。

退職者の声

先輩の後ろを追いかけてあつという間に定年退職

右も左もわからない私が、仙台の大病院に就職することになり、不安でいっぱいでしたが、組合に入ったことでいろいろな先輩に看護、育児、子育て、人生について悩みを聞いていただいたり、アドバイスや励ましで中途退職することも無く、思いもしなかった定年退職を迎えることができました。最初に配属された病棟で、組合員の先輩に公私共にいろいろお世話になり、それが組合に入ったきっかけでした。その先輩を通して、いろいろな方と知り合うことができ、患者さんのために看護師として何をなすべきかなど看護について真剣に考えている先輩達の姿を追いかけてきました。患者さんたちの立場に立って先生に物を申す看護師がいなくなってきたこのごろ、当時のことをとても懐かしく思います。これからは再雇用で一息つきながらがんばりたいと思います。(病) H. Iさん



1 / 15 新春交流会



1 / 9 新春囲碁大会

2/27-28 全大教病院協議会総会

安全・安心な医療、安心して働き続けられる大学病院を

賃金・労働条件改善の取り組み、要求課題の前進のために仲間を増やすこと、安全・安心な医療・看護の実現と夜勤改善・大幅増員を求めて、日本医労連や自治労連との共同の取り組みを行う、第27回医科系大学教職員懇談会を成功させること等の具体的な取組みを行うことを確認しました。

(病院支部 D)

2 / 21-22

地区別単組代表者会議から

数は力、組合員拡大を!

(書記長) 千葉裕輝さん

全大教からの提案を受け、それに応える形で意見交換を行うという今までとは異なる討論形式は、短時間に問題点を掘り下げることができたように思いました。その中で、各大学共に組合勧誘については大きな問題となっているようです。ただ、その意見の中で「先日加入した方に、”実は誘いがかからなかったのでも今まで加入していません”と言われた」と、加入の意思はあっても進んで加入というには敷居が高い部分があると感じさせられる発言もありました。大学という世間一般からチョット変わった常識があるなか、大学運営陣に対してチョットでも世間一般の考えに沿うようにとの要求を組合は行っています。ただ、世間一般の考えのとおり数は力でもあるので、組合員を増やして声を大きくしていかなくてはなりません。